

HAKUBA

議会だより

151号

12月定例会号

令和7年1月31日発行



photo:白馬村役場前：1月16日撮影

近年にない大雪。除雪費大幅増額！

■常任委員会	2～3
■議決結果一覧	4
■フォトニュース	5
■村政を問う 一般質問	6～13
■特集・中学生模擬議会	14～15
■夢・私たちに。「わたしのひとこと」	16



白馬北小学校に 校内教育支援センターを設置

主な議案の審査内容を掲載します。

【教育課関係】（補正予算所管）

教員住宅解体工事の施工内容変更（埋設杭の撤去取り止め）により、1000万円余りが減額されたため、その分を事業の組み替えにより北小学校の旧共同調理場に校内教育支援センター※の設置に充てる。来年度の相談員受け入れ予定があり、早期に施設を整備する必要があるため、差金を使って年度内工事をするとの説明があった。補正手続きをしない事について異論があり、審議に長い時間を割いたが、必要な施設であるということ、一定の理解となった。中には、もう少し予算をつけて断熱環境を良くした方がいいのではという意見も出た。



※校内教育支援センターとは・・・長期間登校することができない児童に対し相談等の支援を行い登校への復帰を促す中間教室。

議案第54号

白馬村執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例

議案の概要

予防接種により発生した健康被害に関する事項を調査審議する機関として、「予防接種健康被害調査委員会」を附属機関に追加。

【健康福祉課関係】

Q 今まで予防接種による健康被害の被害相談は無かったとのことだが、今回何人で状況はどうか。

A 今のところ1名の方から9月に相談を受けており、そこから継続して相談を受けている状況がある。

議案第57号

令和6年度白馬村一般会計 補正予算（第6号）所管事項

議案の概要

歳入歳出それぞれ1億4645万2千円を追加し、歳入歳出予算の予算総額を72億3871万8千円とするもの。

【総務課関係】

財産管理事業440万円の増額は、白馬村八方体育館の改修工事費によるもの。ふるさと納税事業4848万2千円の増額は、返礼業務委託料が主なもの。ふるさと納税基金事業5170万6千円の増額は、寄付金額の歳入を4億円から5億円と見込んだことから積立金を増額するもの。

Q

白馬村八方体育館は、どのような改修をするのか。

A

現在使用している水銀灯の替えがないため、今後不備がないように考えLEDに替えるというものと、床が剥げてしまっている箇所があり今後の使用に支障があるため、改修することになった。

Q

ふるさと納税の返礼品の金額については、物価等の高騰を受け、見直しが必要ではないか。

A

宿泊の場合は、「補助券」を金券という形で使ってもらうため見直しは検討していない。リフト券については各索道事業者とシーズン前に協議を行い、寄附金に対する3割ということと逆算して寄付金額を設定している。白馬産米については、値上がりへの予測が難しく、来年度に向けてはどういった形で提供するのかも含め、生産者と価格設定を考えていく。

【健康福祉課関係】

保健予防事業2万2千円の増額は、予防接種健康被害調査委員会の実施に伴う経費の計上。

Q

調査委員会の旅費の計上について、どこから来てもらう方を想定しているのか。

A

いくつかの市町村に確認したところ、この辺りでは大町総合病院の院長を呼ぶところが多かったため、その予算を基準に作っている。また医師会にも相談しようと思っているが、村内外の医師ではない先生が来る場合も想定して計上している。

黒豆沢の災害から1年 村が担った土砂排出は完了



議案第53号 工事変更請負契約の締結

議案の概要

令和5年12月16日に発生した黒豆沢土砂災害における宅地土砂排除災害復旧工事に関する変更請負契約について。当初土砂量を約1万㎡弱と推計したが、精算ベースにより約1万5千㎡と大幅に土砂量が増加したことから、変更契約するもの。変更後の契約額は1億5千274万6千円から5千442万8千円を増額し、2億717万4千円に変更するもの。

A

搬出する土砂が1万5千㎡増えたとのことであるが、臨時会で説明があった面積1万8千㎡で変更はないか。また国庫補助等の財源の内訳は。変更はない。約2億700万の事業費のうち、約1億9千700万が補助対象で、その半分が国庫補助、その半分の9割が村債、残りが一般財源の予定である。

Q

搬出する土砂が1万5千㎡増えたとのことであるが、臨時会で説明があった面積1万8千㎡で変更はないか。また国庫補助等の財源の内訳は。

議案第57号

令和6年度白馬村一般会計 補正予算(第6号)所管事項 概要は右ページ議案57号と同じ

【観光課関係】

白馬村索道協議会からの要望で、スキー村民デー開催日に滑走距離やリフトに乗車した回数を、自動記録し表彰するなど、活性化のための雪山アプリ導入のため9万9千円の増額。創業塾による創業者支援補助金が、5名から9名に増えたことによる221万4千円の増額。

Q

索道協議会から依頼のあった雪山アプリの負担金について、観光局の負担はないのか。また今シーズンのみか。ただ単年度で終わらせるのではなく、有意義に使用し、その後に繋げていただきたい。

A

観光局の業務としては、上位入賞者へ商品の交換と周知。負担金は単年度の導入経費となるが、多くの方にスキーを親しんでいただきたいという索道協議会の思いもあるので、村も賛同していきたい。

Q

創業塾の9名は、村内で創業していただけるのか。

A

要綱上、白馬村での創業が対象となっており、審査も要綱に沿って行っている。

【農政課関係】

過年発生農地農林施設災害復旧費113万3千円の増額は、黒豆沢土砂災害による農地への土砂流入量が設計量を大幅に超えたことによる、工事費の増額によるもの。

Q

田の堆積した土砂について、村以外の地権者の土地にも排土したと思うが、どのような状況か。

A

堆積した土砂は、すべて村の土捨て場に排出した。一部は地権者の了解を得て、林の中に土砂を入れさせていただいた。



白馬村創業塾で未来を描く！塾生たちが熱心に学び、地域活性化や新しいビジネスの可能性を追求しています。夢を実現する第一歩がここにあります。

詳細はHPに掲載の各委員長報告をお読み下さい。

※各委員長報告は、正式に公開される「会議録」と違い、審議内容(発言)を要約し纏めて本会議場で発表する原稿として編集されたものです。



← 審査結果の一覧は、4ページをご覧ください。

第2回臨時会 議決結果（10月30日）

○…可決 ×…否決

番号	件 名	総務社会 委員会	産業経済 委員会	議決結果
承認第 13 号	令和 6 年度白馬村一般会計補正予算（第 4 号）の専決処分報告について	委員会付託なし		可決
議案第 49 号	物品の取得について			可決
議案第 50 号	物品の取得について			可決
議案第 51 号	令和 6 年度白馬村一般会計補正予算（第 5 号）			可決

第4回定例会 議決結果

番号	件 名	総務社会 委員会	産業経済 委員会	議決結果
議案第 52 号	北アルプス広域連合規約の変更について	○	-	可決
議案第 53 号	工事変更請負契約の締結について	-	○	可決
議案第 54 号	白馬村執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する 条例について	○	-	可決
議案第 55 号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	-	可決
議案第 56 号	白馬村福祉医療費給付条例の一部を改正する条例について	○	-	可決
議案第 57 号	令和 6 年度白馬村一般会計補正予算（第 6 号）	○	○	可決
議案第 58 号	令和 6 年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第 3 号）	○	-	可決
議案第 59 号	令和 6 年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	○	-	可決
議案第 60 号	令和 6 年度白馬村水道事業会計補正予算（第 2 号）	-	○	可決
議案第 61 号	令和 6 年度白馬村下水道事業会計補正予算（第 2 号）	-	○	可決
議案第 62 号	白馬村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改 正する条例について	委員会付託なし		可決
議案第 63 号	白馬村特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正す る条例について			可決
議案第 64 号	令和 6 年度白馬村一般会計補正予算（第 7 号）			可決
議案第 65 号	令和 6 年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第 4 号）			可決
議案第 66 号	令和 6 年度白馬村水道事業会計補正予算（第 3 号）			可決
議案第 67 号	令和 6 年度白馬村下水道事業会計補正予算（第 3 号）			可決
発委第 9 号	私立高校への公費助成に関する意見書			可決

第4回定例会 陳情・請願 審査結果

番号	件 名	総務社会 委員会	産業経済 委員会	議決結果
陳情第 9 号	私立高等学校に対する公費助成をお願いする陳情書	○ （賛成： 全員）	—	採択

令和7年第1回臨時会 議決結果（1月20日）

番号	案 件	総務社会 委員会	産業経済 委員会	議決結果
報告第 1 号	損害賠償事件に係る損害賠償額の専決処分報告について	委員会付託なし		可決
議案第 1 号	令和 6 年度白馬村一般会計補正予算（第 8 号）			可決
議案第 2 号	令和 6 年度白馬村下水道事業改正補正予算（第 4 号）			可決

一般質問

村政を問う

安全で活力ある
村づくりをめざして

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

白馬村は1問1答方式で、1人60分の制限時間内であれば、質問回数に制限はありません。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。

本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます。

質問者一覧

汚水の処理原価が高額だが主な要因は

切久保 達也 6

村営住宅建設は優先順位の高い事業では

加藤 亮輔 7

県に準じての定額制では能が無さ過ぎでは

太谷 修助 8

防災文化が育めるような村づくりを

丸山 和之 9

松糸道路、白馬区間ルート of 調査・検討は

津滝 俊幸 10

公共施設のZEB化対応は

尾川 耕 11

年収の壁問題、178万円での本村減収見込額は

松本 喜美人 12

ナイトデマンドは村民の方を見ているか

太田 伸子 13

フォトニュース



12月5日「子ども第3の居場所」開所式並びにB & G財団との協定書調印式

問 汚水の処理原価が高額だが主な要因は

答 観光最盛期を意識した規模の施設が多い為



切久保 達也

【下水道事業】

問 設備更新に毎年1.5億円の投資が計画されている。更新工事の優先順位はどのように決定しているか。

答 管渠の他に浄化センター、東部送水ポンプ場、マンホールポンプ施設が27箇所あり、通常の維持管理のみでは困難な施設が多く、機能上の重要度が高い資産を優先更新している。また令和5年度から浄化センターの耐震実施設計も行なっている。

問 財政の健全性を維持するために、企業債残高が横ばいで推移することの妥当性やリスクについてどのように考えているか。

答 中長期的な経営の基本である経営戦略の改定を進めている。今後の企業債残高は、し尿投入施設の建設や浄化センター耐震化により増加する計画だが、定量的経営目標として企業債残高対事業規模比率を類似団体平均以下に設定し、計画の改訂を進めている。

問 コストを維持または抑制する為に、使用料金の見直しの検討は。

答 今年度行っている経営戦略の結果を見て判断したいが、すぐに改定はしない。値上げについては検討する余地があるところとご理解いただきたい。

問 地価上昇を抑えるための検討は

答 規制の緩和、買収の抑制、目的の転換など

【観光産業と住民生活のバランス】

問 富裕層や事業者による需要の高まりを背景に地価が急激に上昇しているが、村はどう認識しているか。

答 この現象は、村全体の経済活性化に寄与する側面もある一方、地元住民や移住を希望する日本人にとって土地取得が困難になるなど、税負担や暮らしの面での不安も含め地域社会に影響を及ぼしている。

問 相続税や固定資産税負担の増加、土地の売却を余儀なくされるケースについて、具体的な調査やデータはあるか。



宅地1坪、令和5年は26,000円が令和6年は36,000円と急上昇。全国でも有数の上昇となった都道府県地価調査基準値「白馬5-2」の様子。白馬らしく別荘地向けの商店が多い一角。

答 法務局との連携により、登記の異動情報を毎日電子データで受け取り、課税台帳へ反映させている。

その中で売買、相続、贈与、寄附、交換など所有権移転の原因を把握している。

問 不動産協議会と連携し、官民共同で土地政策を進めるための枠組みを構築する考えは。

答 当面は、計画に基づく空き家の活用促進策の推進について、地元不動産事業者団体と連携し取り

組む。

問 不動産協議会の調査では、向こう10年間で100区画の土地提供があっても、子育て世帯が家を建てられる価格帯であれば売り切れるとの見解だが、土地開発公社で土地政策を進めるべきでは。

答 土地の購入費や造成費を価格に反映させなければ難しいが、可能性を含めてどう取り組んでいくのか検討していきたい。



加藤 亮輔

問 村営住宅建設は優先 順位の高い事業では

答 大きな課題だが、村の優先
計画は他にある

【村民生活を豊かにさせる
予算と村づくり】
問 村営住宅は必要だ。建
設についての検討は。
答 村の優先計画は、子育
て支援施設と図書館

整備。また、八方池山荘の建
て替え等。村営住宅の整備
を、行政が行う事業かを含め
て考えたい。

問 消極的だ。資料の「住
んでよし、訪れてよし」
という観光立国の理念は「自
らの地域を愛して誇りを持っ
て暮らしていれば、おのずと
誰もが訪れたくなる」との考
えで、観光客優先の振興策ば
かりの議論でなく、住民主体
の地域づくりがブランド力
になる。村営住宅が後回しで
は、持続可能な村づくりはで
きない。また、高断熱仕様の
モデル住宅を建設等、ゼロ
カーボン対策を含め、優先順
位の高い公共事業と思うが。

答 村が土地を購入、建設
更に、格安の家賃で提
供する場合、かなりの金額に
なる。やりたいが、十分な精
査が必要。先ほど、観光とお
金の話が合ったが、我々とし
ても住民福祉を充実させる
ことが行政の仕事と思ってい
る。しかし住民の多くが、
観光事業を営み客の増加に
よって、懐事情が良くなる。
要はバランスが大事。新たな

観光財源を取り入れ、今後
は、観光客の方にも負担を、
その分を福祉に充てる流れ
を作り、その積み重ねの中で、
村営住宅にも取り組みたい。

問 会計年度任用職員（以
下年度職員）に勤勉手
当を支給するように、法改正
した。本村の支給は。

答 令和6年4月から可
能になった。今年度は、
年度職員の給料表を平均2.
9%引き上げ、期末手当の支
給月数を一般職と同じ2.
45月に引き上げたので、勤
勉手当は見送った。

問 大北地域の支給状況
は。

答 池田、松川は、0.3月
掛ける2回で、0.6
月支給。小谷村は、一般職と
同様の2.05月。

問 大町市も含め支給。総
務省からの通知は、
パートタイム年度職員も勤
勉手当を支給だが、支給しな
い理由は。

答 通知は承知している。
池田、松川は期末と勤
勉合わせた率が、年2.6月。
本村は2.45月で0.15

少ない。国が、年度職員制度
を策定し、任用期間は、3年
だが、本村は、60歳まで働け
る職場を目指して職託職員
制度に移行した。例えば一般
事務では、1級の1・13号俸
まで、13年間勤めている間、
昇級。給料ベースでは、他村
より高い。

問 村の第3回宿泊税検
討部会において、県旅
館ホテル組合会から免税点
を6千円の報告があったが、
事務局案の3千円に決定し
た。仮に免税点を6千円及び
1万円にした場合、村の税収
見込み額は。

答 試算が可能な1万円
は、税収見込額3億7,
078万円で、うち村税は
2億2,925万円。

問 軽井沢町は免税点が
1万円、県も引き上げ
方針なので、6千円の試算も
すべき。宿泊税の議論を注視
しているが、自営業者に対す
る説明が足りない。もっと開
催すべき。

答 前回は骨子が出た段
階で説明会を行った。
現段階は、県の骨子が固まっ
ていない。その段階で説明を
すると、かえって混乱も招く、
県が方針を示した段階で、説
明会を行いたい。



清水 慎一氏の「観光羅針盤」より、観
光立国の理念としての「住んでよし
訪れてよし」についての意義と方向性。

問

県に準じての定額制では
能が無さ過ぎでは

答

異なる制度だと事業者負担が
増大し不合理



太谷 修助

【白馬村と長野県の宿泊
に関する課税の課題】

問

県のパブリックコメ
ントでも、定率制は観
光消費額を目指す県の方向
性に合致するほか、宿泊料金
に応じた負担となり理解を
得やすいというメリットが
あるとしているが。

答

財源検討委員会の報
告に拘ることなく、県
税の定額制と村税の定率制
の併用型も検討していかな
ければならないと考えてい
る。

問

世界のグローバルス
タンドードは定率制。

2024年3月に、経済同友
会では、自立した地域の観光
経営の実現に向けた宿泊税
の拡大と活用と題して提言
をし、観光振興に向けた財源
として、宿泊税を目的税に、
海外では主に定率制が採用
され、税額水準は約10%と
なっている。現在の定額制
では税額水準が低いといわ
ざるを得ず、目的税化に当
たっては、定率制を採用し、
宿泊代金の3%以上が適切
であるとして、2026年に
行われる「観光立国推進基本
計画」の第5次改訂に合わせ
て実施するとしているが。

答

県のパブリックコメ
ントにも同様の意見
もあり、長野県旅館ホテル組
合会でも、負担の公平性や量

から質へという長野県観光
の方向性と一致しているこ
とから、定率制を求めている。
長野県でも今後、改めて意見
交換会を開催するとのこと
であるので、業界団体の意見
にどのように対応するのか、
村としては県の動きに注視
し、速やかに対応できるよう
準備しておく必要がある。

問

村独自課税をしないと、
独自課税をしないと
きの1.5倍の財源が確保でき
るとしているが、増えた財源
はどのような使途を考えて
いるのか。

答

税の使途は、既に決定
しているものではなく、
財源確保検討委員会におい
て審議され答申を頂くもの
で、使途の基本方針は観光地
経営計画の範囲内とし、税を
負担する観光客の利便性・満
足度向上に資する事業とし、
負担者は観光客なので、観光
客に還元すべきとしている。

問

宿泊税以外の検討の
進捗状況は。

答

登山協力は、環境省
主導の登山道維持を
主目的にした「アルプストレ

イルプログラム」議論が始
まったことと、近隣市町村と
の兼ね合いから村独自の登
山協力は徴収せず、今後そ
のプログラムで登山協力を
を導入する。

事業者負担金検討部会では、観光事業に関わる業種の
幅広い分野で検討している
が、ヨーロッパの「観光事業
税」のようなものは国内には
前例がない。リフト乗車、駐
車場、日帰り客等、あらゆる
角度から検討し、持続可能な
観光地づくりを目指したい。

問

入湯税の取り扱いの
進捗状況は。

答

宿泊税検討部会の中
でも入湯税の最適化
に関する諮問も行っている。
宿泊税が導入されれば、入湯
税の税率や使途についての
本格的議論が始まると考え
ており、温泉施設連絡協議会
の要望書の意識調査等も踏
まえ、議論が進むと考えてい
る。



倶知安観光協会主導の、宿泊税を活用したニセコひらふを自由に
楽しむ無料のシャトルバスのポスター
Free ride for everyone(誰でも無料で乗れます)



丸山 和之

【白馬村消防団と防災の備え】
問 消防団の定員数は、県内では減少傾向にあるが、白馬村では、現在の定員を維持していくのか、県内

問 防災文化が育めるような村づくりを

答 重点的に取り組む事業として考える

の傾向に合わせて減らしていくか。

答 現在、団員数は定員を満たしていない。昨今の少子化の影響もあり、将来的には定数減の方向に向かうものと考えるが、正副分团长会議などを通じて、実情を把握するとともに各地区の状況や動向を勘案しながら検討していく。

問 今後、白馬村消防団としては、外国籍の消防団員について検討していくのか、また、女性団員についても同様に検討していくか。

答 白馬村消防団条例では、外国籍、女性を除外する規定はない。消防団の活動に共感し活動してもらえる方については、一緒になつて参加していただければと考える。ただし、外国籍の方については、公権力が使用できないため、活動が制限されることから行動への配慮が必要となる。女性団員については、過去に在籍していた実績もあり、女性の持つ能力を生かした活動が考えられる。外国籍の方と同じく、

消防団活動を理解した上で活動に参加していただければと考える。

問 消防団の役割や活動などをもっと村民に理解していただく努力が今の時代は改めて必要ではないかと考えるが、今後の取り組みの検討は。

答 同感する。有事を問わず消防団活動に対して積極的に取り組む真摯な姿を見せることで、活動に対する理解を得られると考える。また、次代を担う子どもたちへの啓発として、楽しく参加できる体験型や視覚的な要素を取り入れた活動も今後検討していく。

問 今後、政府の方針では各自自治体で保有する備蓄品の調査と結果を公表するとなつている。その地域に合った適切な備えの工夫が必要と考えるが。

答 第3次長野県地震被害想定調査報告書において想定される避難者数や各地区の備蓄品の状況等を勘案しながら、備蓄目標量や備蓄場所等の定めた「備蓄

計画」において、公的備蓄の品目やその目標数を算出し、真に必要な備蓄品の充実を図っていく。

問 防災は村づくりの基本であり、土台がしっかりとしている場所が安心、安全に暮らせる場所であると考え。本村も防災の文化が育めるような村づくりを考えていくことをめざす必

要があると考えが。

答 令和7年度予算編成方針の重点的・積極的に取り組むべき事業として、「防災・減災の村づくり」を挙げていく。住民や観光客が安心して暮らし、滞在できるよう強靱な村づくりと防災・減災のための体制づくりを強化していきたいと考える。



ポンプ操法県大会に出場した白馬村消防団。
安心安全な村づくりをめざす上では、地域の防災の要となる消防団の活躍は欠かせない。

問 松糸道路、白馬区間 ルートの調査・検討は

答 県から要請がないので、何もしていない



津滝 俊幸

【道の駅と道路網整備】

問 道路網や道の駅整備についての行政の基本的考え方は。

答 松糸道路では、村内詳細ルートの検討作業は手をつけていない。道の駅については、機能が類似している民間施設があるため早急な整備は考えていない。

問 住民を交えた公聴会や懇談会の開催は考えているか。

答 大規模なインフラ整備については、村民から意見を聞くプロセスは重要。

問 道路網整備は、交差する村道・水路の改修や工事による観光への影響など予算や工期に配慮した事前のルートシミュレーションが必要では。

答 県からルート帯が示される前に、事業に遅れを取らないよう、村にとって最良の状況をつくれるよう検討していく。

問 富山県へ抜ける北アルプス横断道路については。

答 両県の調整が必要。今後の展開を注視していく。

問 公衆トイレを充実していく考えは。

答 設置数の増は考えていない。機能的充実に目指し、村所有の佐野坂公衆トイレの改修を優先的に、県所有のサンサンパーク公衆トイレの改修は県へ強く要望していく。

問 待避所や道の駅などでの車中泊やゴミ捨てへの対策は。

答 待避所や道の駅などでの車中泊やゴミ捨てへの対策は。

問 国交省では、道の駅は休憩施設であるため、駐車場など公共空間での宿泊目的の利用は認めていない。仮眠は許容の範囲内としており、ゴミ捨て防止も含め啓発看板を設置し対策とする。

答 国交省では、道の駅は休憩施設であるため、駐車場など公共空間での宿泊目的の利用は認めていない。仮眠は許容の範囲内としており、ゴミ捨て防止も含め啓発看板を設置し対策とする。

問 路肩や法面の草刈などの管理方法は。

答 直営や業者へ委託しているが地域任せの所もあり不備を感じている。これまでの管理方法を維持しつつ、足りない部分の拡充や地域への支援策を次年度予算編成で検討していく。

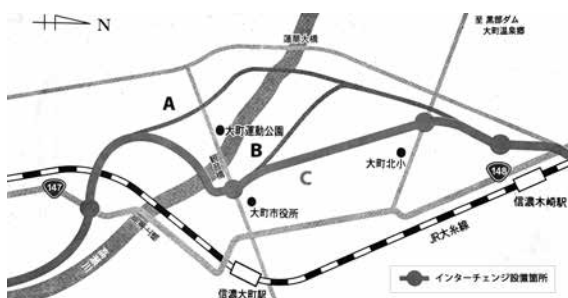
問 新たな税を車中泊者から徴収するか。

答 日帰り客からの徴収制度は難しい面もあるが、税の公平性から引き続き検討していく。また、税の使途において観光客の満足度を上げるための目的に使用していく。

問 新たな税を車中泊者から徴収するか。



安曇野市新設区間イメージ図



大町市内のルート案



長野県建設部道路建設課作成資料



尾川 耕

【白馬村ゼロカーボン
ロードマップ】
問 6月の一般質問で、「公
共施設の電気、ガス、
灯油、重油、ガソリン、軽油等
の使用量の一覧表を毎月・毎

問 公共施設のZEB※ 化対応は

答 可能な限り、国の方針に
準じる

年の変化がわかるように
HPなどで公表しないか。」
という問いに、「庁内の会議
等で検討したい。」と答えた
が、その結果は。

答 現時点で、公表を行っ
ていない。今年度実施
する「村内における温室効果
ガス排出量測定業務」の中
で、公共施設の排出量測定を
実施予定、結果報告として公
表を予定している。

問 取り組み推進に必要
な、様々な関係者との
連携体制は。

答 連携体制はまだ示せる
状況ではない。次年度
の施策実現に向けた補助事
業等各種の情報収集、課題解
決を共創するパートナー探
し等に、取り組んでいる。新
年度に向けて整いつつある。

問 令和7年度の予算処
置は。

答 11月末「令和7年度当
初予算編成方針」を示
し、「気候変動・環境対策」を
重点的かつ積極的に取り組
むべき事業とし、全庁的に展
開していくことのひとつとし
て掲げた。

問 八方池山荘、子育て支
援施設など、新しく造
る公共施設のZEB化対応
は。

答 国のGX実現に向け
た基本方針「地方公共
団体は、公営企業を含む全て
の事務及び事業の重点対策
として、再生可能エネルギー
導入、公共施設等のZEB
化等を率先して実施する。」
としている。可能な限りこの
目標・方針に準じた対応を行
いたい。

問 ニセコ町で策定中の
「ニセコ町気候変動対
策条例」で新築建物のエネル
ギー性能・環境負荷低減の検
討及びその結果の提出を求
めるような条例を検討して
いるか。

答 検討していない。今後
の状況を注視したい。

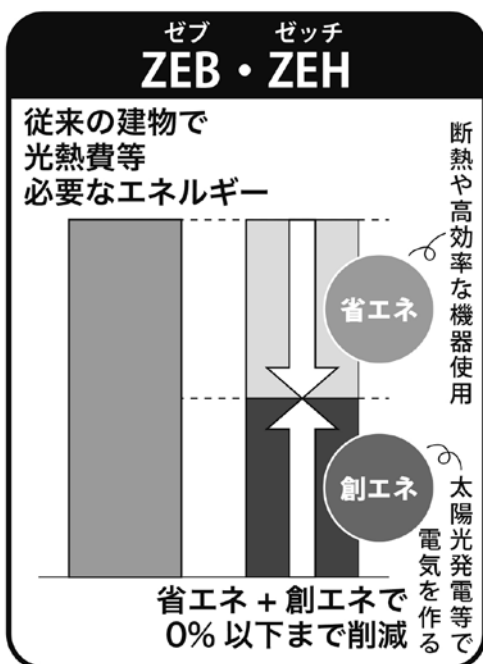
問 白馬村内や周辺エリ
アでは、脱炭素に向け
実質的に取り組む人が不足
していると感じている。例え
ば、断熱や高断熱・高気密の
建物建設を積極的に進める
工務店、太陽光発電を普及さ

せたい電気屋や専門業者な
ど。できれば村内の建築系事
業者に参画し推進役に努め
てもらいたい。が、建築ラッ
シュに追われ、それどころで
ないように見受けられる。実
質的に行動できる仲間を集
め、コンソーシアム(組織)を
作る予定は。

答 現時点では、行政が主
体となった環境分野
の組織体を立ち上げる予定
や目途はついていない。
2050年を到達目標とす
る「白馬村ゼロカーボンビ
ジョン」や、2030年まで
のアクションプラン「白馬村
ゼロカーボンロードマップ」

を実現、実装していくために、
共創拠点が存在することは、
重要な視点の一つ。一にも二
にも行政任せではなく、地域
の関係者や多様な課題解決
パートナーなど、取組を理解
する誰もが集い、学び合い、
そして実装するきっかけの
場となる拠点機能を備え持
つことが重要である。先ずは
こうした機運を高めていく
ことが必要。

※ZEB(ゼブ)：Net Zero Energy Building
(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略。快適な室内環境を実現
しながら、断熱や省エネと太陽光
発電等を組み合わせ、エネル
ギー収支をゼロにすることを目
指した建物のこと。



ZEHは、ZEB(ゼブ)に対して一般住宅(ハウス)の建物の事。

問 年収の壁問題、178万円 での本村減収見込額は

答 個人村民税、単純計算で
1億3000万円減



松本 喜美人

【新年度予算と重点施策】
問 予算編成の基本方針は。

答 村長 最小の経費で最大の効果を上げるため、全ての事業の緊急性、必要性、費用対効果を検証し、持続可能な財政運営を推進する。

問 重点施策は。

答 村長 ①防災・減災の村づくり、②気候変動・

環境対策、③移住・定住の推進、④子育て支援と少子化対策の推進、⑤農林業の振興、⑥世界水準と持続可能性を

意識した観光の村づくりを、全庁的に展開する。

問 義務的経費の前年比は。

答 村長 総額16億900万円を見込み、対前年比1億7,900万円の減額で、本年度は繰上償還を実施し、繰上償還分を差し引いても1,600万円の減額となる。

問 経常経費の一般財源枠は。

答 村長 本年度当初予算の経常経費に対し、水道料金の改定分と会計年度任用職員給与増額分、合計3.4%を上昇分として考慮して、ゼロシーリングを要求限度額に設定した。

【職員の人材育成】

問 本年度末から向こう5年間の職員定年年齢及び退職職員数は。

答 村長 定年年齢は今年度61歳、8年度末62歳、10年度末63歳、12年度末64歳、14年度末65歳に到達し、退職職員数は今年度末1名、8年度末3名、10年度末2名、12年度末4名、14年度末1名ですが、管理監督職務上限年齢60歳と定めており、現在課長職の者が4分の3いなくなると認識している。

問 後任課長の選任対応は。

答 村長 非常に苦慮している。

問 人材育成について村長、副村長、教育長の見解は。

答 村長 課長職では、様々な職務経験が必要であり、職員研修や職員教育のための異動や配置転換さらに評価制度を活用して、住民のための行政運営を担っていく、環境整備が必要と考える。

答 副村長 町村の役場職員は、多種多様な業務と兼務業務があり、浅く広く知恵を習得し、一定期間を数多くの職場につき経験を積み、経験値と実績を重ねる人事異動は大きな要素であり、異動する課ごとにお互いに学びあい、その組織を向上する体制づくりが大切と思う。

答 教育長 教育現場における人材育成は、小学校では身近な人たちの働き方、中学校では2年次に地域

の職場体験と進路学習、3年次では進路指導に関わる決定を自ら見つけ、高等学校では生徒や保護者の希望に沿った進路指導を心がけている。今後も引き続き教職の魅力や働きがい、多くの人たちに伝え、地域に根差した教育力向上のため、地域の外部指導者と連携し、人材育成に努めたいと考える。



近年11月から12月にかけて、外国人等の本村への転入届事務に忙殺される住民課窓口。



太田 伸子

問 ナイトデマンドは村民の方を見ているか

答 観光用を住民にも使えるようにした

【安心安全な村づくり】
問 4月から開始した、A1オンデマンドタクシー「ふれA1号」の検証と改善点は。

答 11月末までの224日間に、総乗客数は

8816人、1日平均乗客数は28.5人。昨年度よりも総乗客数で4107人、日平均でも7.6人増えている。この実績から、公共交通として住民と観光客の足として認知され、根付いていると捉えている。5月・7月・12月の3回、運行の見直しを実施。7月には、3台運行とし、12月には、自宅前乗降場所を172カ所、停留所を6カ所追加。アプリでの購入限定で、1か月の定期パス5千円、1日定期パス千円の販売を設定した。

問 自宅前乗降を希望する村民は、電話のみの予約。「ふれA1号」を最も利用する村民が、1乗車300円でアプリは使えず割引もない。アプリ予約の乗客には、料金の割引や定期パス券が購入できる。これは村民に寄り添った事業と思えないが。

答 高齢者については、定期券のようなものの導入を、検討している。

問 ナイトデマンドタクシーについて、今年度から観光交通と住民交通を合体させた運行を始める」と認識している。「ふれA1号」各地区の公共停留所が、削られる理由は。

答 昨シーズンまで、外国人や観光客の足としてナイトデマンドを運行しており、予約の取れない状況があったので、今シーズンもこの形で運行する。検証して住民も使いやすい交通になっていけるようにしていきたい。

問 乗客の依頼がなければ、その停留所に行く必要がないのだから、昼間の地区停留所をナイトデマンドタクシーの停留所に追加していただきたいが。

答 停留所を多くすると、効率が悪くなり待ち時間が長くなる。

問 観光客だけが、夜出かけるのではない。村民も使えなければ公共交通とは言えないと思う。まず一番に村民に目を向けて、村民の足の確保も考えつつ、観光客の移動手段を考えていただきたいが。

答 シャトルバスは観光用に運行してきたものを、さらに村民が使えるようにした。村民の方を向いてやる中で、観光客をうまく回して住民が使える制度を考えていく。

問 高齢者が元気で安心して暮らせるための予防注射は不可欠。带状疱疹ワクチンの補助の検討は。

答 带状疱疹ワクチンは現在、任意接種に該当し費用は高額である。厚労省は、令和7年4月から定期接種の対象とする方向で検討しているとの報道があり、国の動向を注視していく。

問 65歳から、5歳ごとの接種との報道があった。定期接種になっても、個人負担はあるので、ぜひ補助を検討してもらいたい。

答 近隣市町村の意向も加味しながら、検討していく。

問 村内外の不動産事業者等から、高齢者への接触が聞かれる。詐欺行為に近いかもしれないし、防犯上の観点からも、また村を思い

純粋に土地を手放しても良いと思っている村民の相談窓口は。

答 家屋の立ち入りや恐怖感を覚えるなどの悪質なケースは、直ちに警察へ連絡していただきたい。また、迷っている場合は遠慮せずに関係機関へ相談してほしい。



Tel 71-1111 混雑する昼間のデマンド電話受付

地域の課題をよく捉えた質問に一同感心！ 条例化できる可能性があるものも！

11月21日に開催した模擬議会には、3年生9人が登壇し、持ち時間10分の中にあっても素晴らしい質問が相継ぎました。質問と答弁の一部要旨のみ掲載します。

事後の授業では条例化まで試みられ、実りあるものとなったことは、地域への関心を持つという目的を達したものでなりました。

子育て支援



A組 山口 仁鼓

Q 子育て世代に対しての補助は。また少子化に危機感を覚えるが、給食費の無償化など

対策の予定は。

A

児童手当、ひとり親世帯への児童扶養手当、妊娠出産時の応援交付金、妊婦さん健診、子どもの健診や保育園などの利用料への補助。また村独自では、3人目以降の補助上乗せや、はくばつ子応援給付金がある。

4年後に新しい子育て支援施設と公園が完成する予定。安心して子育てができるよう各事業をより充実させていく。給食費の無償化について検討はしているが財源の確保が難しく、まずは質の向上に努める。

ユニバーサルデザインと移住者



C組 中村 晏

Q 本村の移住者の割合は。どのように移住者を増やすか。また、年齢や障がいの有無に

よらず、誰にとっても分かりやすく、使いやすい設計のユニバーサルデザインを推奨する条例が作れないか。

A

10年前は58.3%。この自然豊かな村の強みを活かして多様なライフスタイルを受け入れながら課題解決に繋げたい。また、ユニバーサルデザインを条例として制定しているところは全国でも稀だが、多様な人々が利用しやすい地域づくりを推進する理念を、皆が意識し実装していくことは重要。参考にしたい。

ゴミのポイ捨て



C組 吉田 才蔵

Q 観光客の増加に伴い、ごみのポイ捨てや不法投棄が目立つようになったと感じる。マナー

条例は制定されているが、このごみ問題について罰則を設ける予定やスキー場など各団体との連携は。

A

美しい村と快適な生活環境を守る条例（マナー条例）は「全ての人が幸せを感じて快適に過ごせる村づくり」を目指すために、住民だけでなく、観光客の皆さまも守るべきルールとして定めている。罰則を設けた方がよいといった意見もあるが、取り締まる人材確保が難しい。罰則がなくとも守っていただける環境を作ることができる限り作り上げたい。啓発活動を行なっていく上で、各団体とも協力して、ポスター掲示や動画の作成など様々な手段を講じて周知を図っていききたい。

道路整備



C組 小山 廉斗

Q 村内は街灯が非常に少なく、特に夜間が危険であると感じる。街灯の整備に取り組み予定

は。また、村民から寄せられる道路状況などの情報を効率的に集約し、整備計画に反映させるシステムを作れないか。

A

村では大きな道路を優先して対応していく。また、各地区が設置する照明灯に対しては補助金を交付する制度を設けているのでぜひ活用してほしい。今後、円滑な情報収集の体制づくりを考えたい。よりよい道路計画ができるよう、若い皆さんの力を貸して欲しい。

学習環境の整備



B組 下川 紗奈

Q 白馬中のPCにもう少しお金をかけてほしい。頻繁に使うものなのにラブルがとても多

い。また、学校外で勉強ができる図書館などの施設を早急に充実させてほしいか。

A 新しいタブレットは注文が殺到しているため手配に時間がかかっている。なるべく早く使えるよう引き続き努める。図書館の建て替えは先送りになってしまったが、新しい子育て支援施設に誰

でも利用できる交流スペースを計画している。皆さんの意見も取り入れながら今ある図書館をできるだけ良い環境にしていきたい。

開発と環境保全

B組 北林 懐二



Q 近年、土地の開発などが多く進んでいるが、対策を打つ予定は。また気候非常事態宣言を掲げ

ているが、開発が進んでいく中で、どのように環境への配慮をしていくのか。

A 確かに、近年は村内各所で開発件数が増えている。これに対応するため

R5年から新たに「白馬村開発行為の調整等に関する条例」や「景観条例」を作り対応している。条例に定めたルールをしっかり指導していきたい。村では2050年に向けたビジョンやロードマップの具現化を意識しつつ推進すべき取組みをさらに実施していく。

公共交通

A組 新谷 惟人



すなど良くなる取組みは。

Q 電車などで高校に通うことは時間の制約が大きく、また交通の便が悪いと感じる。本数を増や

A 確かにJR線については、利便性が高いとは言えないが、大町・白馬間は7億5,800万円の赤字で、採算性で見ると現在の2.6倍の乗客数が必要。車社会の現状の中、いかに電車の利用者を増やすかという大きな課題がある。村ではコンパクトなまちづくりを推進したり、大系線沿線の市町村と一緒に、大系線の利用促進を後押ししているが、現代にあつた移動手段を確保する観点から、持続可能な交通手段とは何かを再検討する時期が来ていると感じる。

村の財政

A組 松澤 晃佑



Q どうして白馬村はお金がないのか。

A 村の歳入は定資産税などの税金が21.4%を占め、社会情勢の影響を受けやすく、安定した収入が得られない。

一方で、歳出では長野オリンピック開催時の借入金の返済額が多い時で15億円あった。地震や土砂災害などの復旧にも多くのお金が使われている。除雪にも多額の費用がかかる特殊事情もある。しかし基金残高は着実に増加し、返済金も毎年減ってきている。さらにふるさと納税や新たな観光財源の確保にも取り組んでおり、目の前の大きな課題を先送りしないよう、しっかりと精査して事業を行っていききたい。

観光と娯楽施設

C組 丸山 晴高



Q 娯楽施設のような場所を増やすことは村として可能か。また夕食難民への対応は。

A 2つの方法がある。一つは民間事業者と協力して行うこと。もう一つは、非営利で住民が自ら運営すること。自分たちで動いて解決することもあるので、大人を巻き込みながら行動してもらえると嬉しい。

夕食難民問題は、まず飲食店数を増やすことが重要。村内で事業を開始する際の補助金や、飲食店の予約等のシステムを試験導入している。近隣市村の飲食店利用に向けてバス運行も行なっている。

Q 今の状態でリゾートと言えるか。

A 「長期滞在したくなるような快適なライフスタイルがあるかどうか」と

いうふうな定義をされている中で、白馬村はリゾートとだと言える。快適に滞在できる真のリゾートとなるためには、取り組んでいかなくてはいいけない問題も山積み。行政としても国際認証を取得し世界基準を目指しているが、官だけで実現できることではないので、事業者や住民、そして来村者の皆様と力を合わせていきたい。



「議事録」は、議事録署名人(中学生3名)による正式な手続きを経て作成され、議会だよりのHPに掲載しています。QRコードよりご覧になれます。



スマホアプリで白馬議会だより配信中!



マチイロ

マチを好きになるアプリ



App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう



お気軽に!

ご意見をお寄せください!

▶ gikai@vill.hakuba.lg.jp

85-0725(直通)

72-7001(ファックス)

わたしのひとこと



人が紡ぐ白馬の明日

八方口 吉野 孝之

白馬に暮らし14年。その間、震災やコロナ感染症などがあり平穏な時期は僅かでした。宿泊施設は老朽化や高齢化による廃業が進む一方で、人手や住宅の不足が生じています。

しかし、観光資源に恵まれたこの村は人々を惹きつけます。この環境は人々の暮らしが紡いできた「現時点」であり、今後も新陳代謝を繰り返し、新しい取り組みや価値を生み出していくことが、更に人を惹きつける力になると信じています。

私の勤務先では、今年10名を超える人材の採用に至りました。彼らは成長産業として観光業を捉え、そこに自らの成長を重ね合わせています。

35年前に触れた「観光とは地域の光を観せること」という言葉を思い起こします。地域資源を来訪という行動を起こさせる「光」とするのは、そこに関与する人々であり、人そのものが「光」なのだと思います。



白馬の自然に魅せられて

みそら野 鈴木 裕見子

四季折々の自然に魅せられて移住し、数年経ちました。季節に応じた生活にも慣れてきました。

数年の間に、家の周りの様子も変化し、軒並みに外国の方所有のコテージが立ち続けています。

“ここは日本だよ”外での会話は外国の方のみという日もあります。昨年のクリスマスは、インドのご家族と知り合いプレゼント交換も楽しみました。

外国の方所有のコテージは、オーナーが別宅なので、特に冬は火の始末等、わかるように説明してほしいと思います。先日は消防車が出動していました。また雪道は道幅が狭くなるので、長い間車を車道に置かないなど、雪深いところなので、オーナーを通じて知っていただき、白馬での旅を楽しんでほしいなあと思います。



白馬の新しい魅力に

瑞穂 尾形 紘平

2024年春、瑞穂区に「山とビールの店・コケモモ」というクラフトビール専門店をオープンしました。初めて登山で白馬村を訪れた際、雄大な山々の景色に心を奪われ、「ここで暮らしたい」と思い、移住してから早4年が経ちます。白馬村は冬のスノーアクティビティで広く知られていますが、夏山の魅力も多くの方に知っていただきたく、登山情報を発信し、登山者が集える場を作ることを決意しました。

事業経験がない私にとって、白馬村の創業支援制度は大きな助けとなりました。白馬商工会主催の白馬創業塾で多くを学び、さらに白馬村起業家支援事業補助金に支援いただき、念願のお店をスタートすることができました。白馬村の魅力に惹かれて移住した私ですが、今度は自分達が村の魅力の一部となれるよう、精一杯努力していきたいと思います。

あとがき

SDGs、GX、ゼロカーボン。大切さは分かるが、現実との間にある偽善、言葉と数字のパフォーマンス、国家の利己的思惑。

「綿入はなんてんを着て囲炉裏にあたり、家族で鍋を囲む。」一つの横文字も入らない昔の生活にこそあった本当のSDGs。そこへは戻れずとも真に問うべき「豊かさとは何か」。ピンとこない排出量計算は終わらせ、雪や自然環境に生かされた村として、子孫に残す財産として、次こそ一般財源化できる小水力発電の実現。村民が気揃いよく取り組める白馬オリジナルの取組提案と掛け声。意欲を引き出す仕組みづくりを望む。

(丸山勇太郎)

議会広報特別委員会

委員長	尾川 耕
副委員長	増井 春美
副委員長	加藤ソフィー
委員	丸山 和之
委員	横川 恒夫
委員	切久保達也
委員	津滝 俊幸
委員	丸山勇太郎
議長	太田 伸子